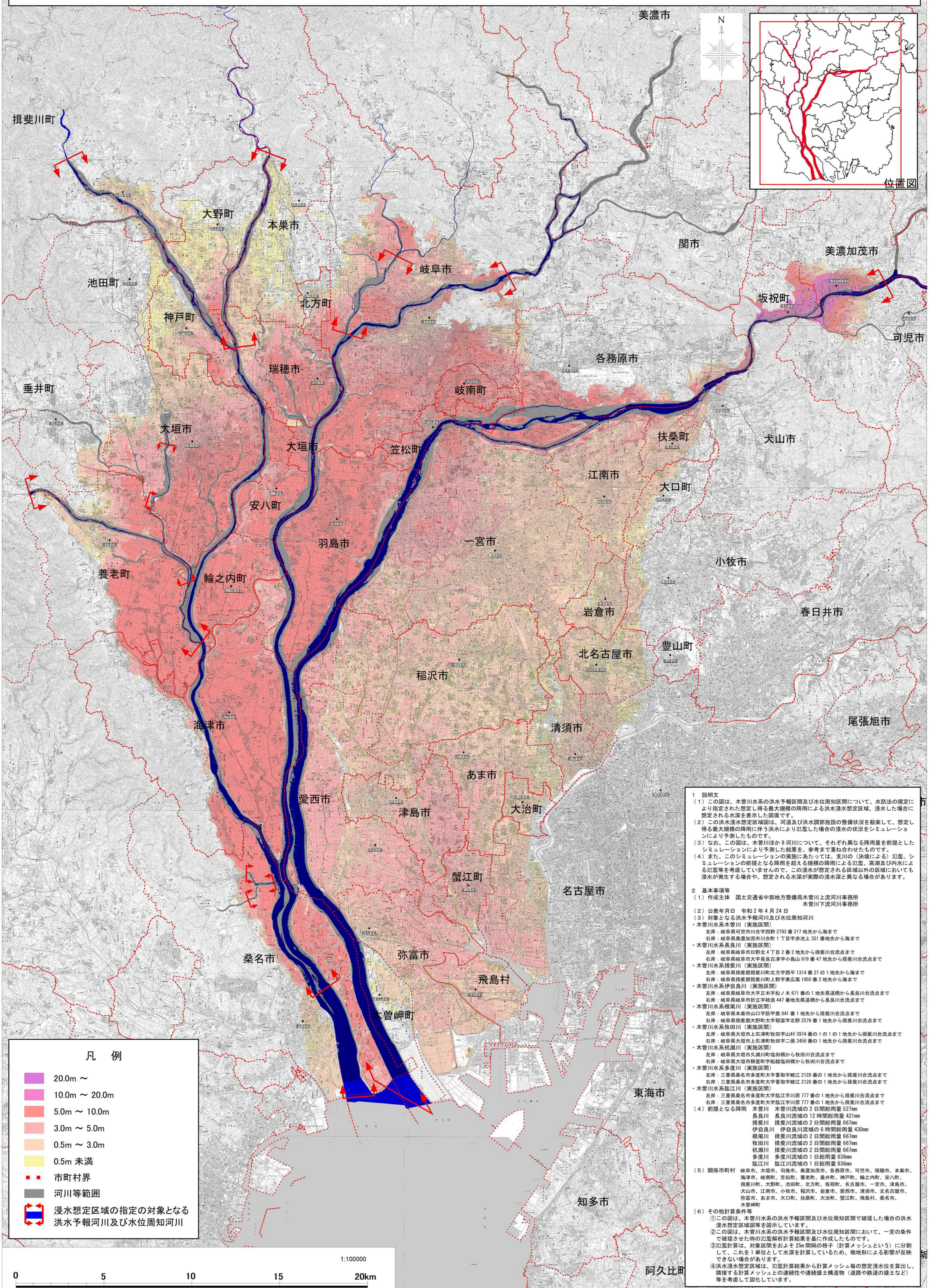


# 木曾川水系木曾川・長良川・揖斐川・伊自良川・根尾川・牧田川・杭瀬川・多度川・肱江川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



**1 説明文**

(1) この図は、木曾川水系の洪水予報区間及び水位周知区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により浸水した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、この図は、木曾川ほか8河川について、それぞれ異なる降雨量を前提としたシミュレーションにより予測した結果を、参考まで重ね合わせたものです。

(4) また、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合は、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

**2 基本事項等**

(1) 作成主体 国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所  
木曾川下流河川事務所

(2) 公表年月日 令和2年4月24日

(3) 対象となる洪水予報河川及び水位周知河川

- ・木曾川水系木曾川(実施区間)  
左岸：岐阜県美濃加茂市川合町1丁目字赤池上351番地先から海まで  
右岸：岐阜県美濃加茂市川合町1丁目字赤池上351番地先から海まで
- ・木曾川水系長良川(実施区間)  
左岸：岐阜県岐阜市白土町4丁目2番2地先から揖斐川合流点まで  
右岸：岐阜県岐阜市大字長良古津字小島山919番47地先から揖斐川合流点まで
- ・木曾川水系揖斐川(実施区間)  
左岸：岐阜県揖斐郡揖斐川町北方字西平1314番27の1地先から海まで  
右岸：岐阜県揖斐郡揖斐川町上野字東広尾1950番2地先から海まで
- ・木曾川水系伊自良川(実施区間)  
左岸：岐阜県岐阜市大字正木字松ノ木671番の1地先東道橋から長良川合流点まで  
右岸：岐阜県岐阜市大字正木字松ノ木671番の1地先東道橋から長良川合流点まで
- ・木曾川水系根尾川(実施区間)  
左岸：岐阜県本巣市山口字新甲斐841番1地先から揖斐川合流点まで  
右岸：岐阜県揖斐郡大野町大字稲富字北野2579番1地先から揖斐川合流点まで
- ・木曾川水系牧田川(実施区間)  
左岸：岐阜県大垣市上石津町牧田字山村3974番の1の1地先から揖斐川合流点まで  
右岸：岐阜県大垣市上石津町牧田字二俣3456番の1地先から揖斐川合流点まで
- ・木曾川水系杭瀬川(実施区間)  
左岸：岐阜県大垣市久瀬町増田橋から牧田川合流点まで  
右岸：岐阜県大垣市静里町宇船増田橋から牧田川合流点まで
- ・木曾川水系多度川(実施区間)  
左岸：三重県桑名市多度町大字善取字純江2128番の1地先から揖斐川合流点まで  
右岸：三重県桑名市多度町大字善取字純江2128番の1地先から揖斐川合流点まで
- ・木曾川水系肱江川(実施区間)  
左岸：三重県桑名市多度町大字純江字川原777番の1地先から揖斐川合流点まで  
右岸：三重県桑名市多度町大字純江字川原777番の1地先から揖斐川合流点まで

(4) 前提となる降雨 木曾川 木曾川流域の2日間総降雨量527mm  
長良川 長良川流域の12日間総降雨量421mm  
揖斐川 揖斐川流域の2日間総降雨量667mm  
伊自良川 伊自良川流域の6日間総降雨量430mm  
根尾川 揖斐川流域の2日間総降雨量667mm  
牧田川 揖斐川流域の2日間総降雨量667mm  
多度川 多度川流域の2日間総降雨量667mm  
多度川 多度川流域の1日総降雨量836mm  
肱江川 肱江川流域の1日総降雨量836mm

(5) 関係市町村 岐阜市、大垣市、羽島市、美濃加茂市、各務原市、可児市、瑞穂市、本巣市、海津市、岐南町、空知町、養老町、垂井町、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町、北方町、坂祝町、名古屋市、一宮市、津島市、大山市、江南市、小牧市、稲沢市、岩倉市、豊山町、清須市、北名古屋、春日井市、尾張旭市、阿久比町、東海市、知多市、阿久比町

(6) その他計算条件等

① この図は、木曾川水系の洪水予報区間及び水位周知区間で破壊した場合の洪水浸水想定区域図等を図示しています。

② この図は、木曾川水系の洪水予報区間及び水位周知区間において、一定の条件で破壊させた時の氾濫解析計算結果を基に作成したものです。

③ 氾濫計算は、対象区間を約25m間隔の格子(計算メッシュ)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。

**凡例**

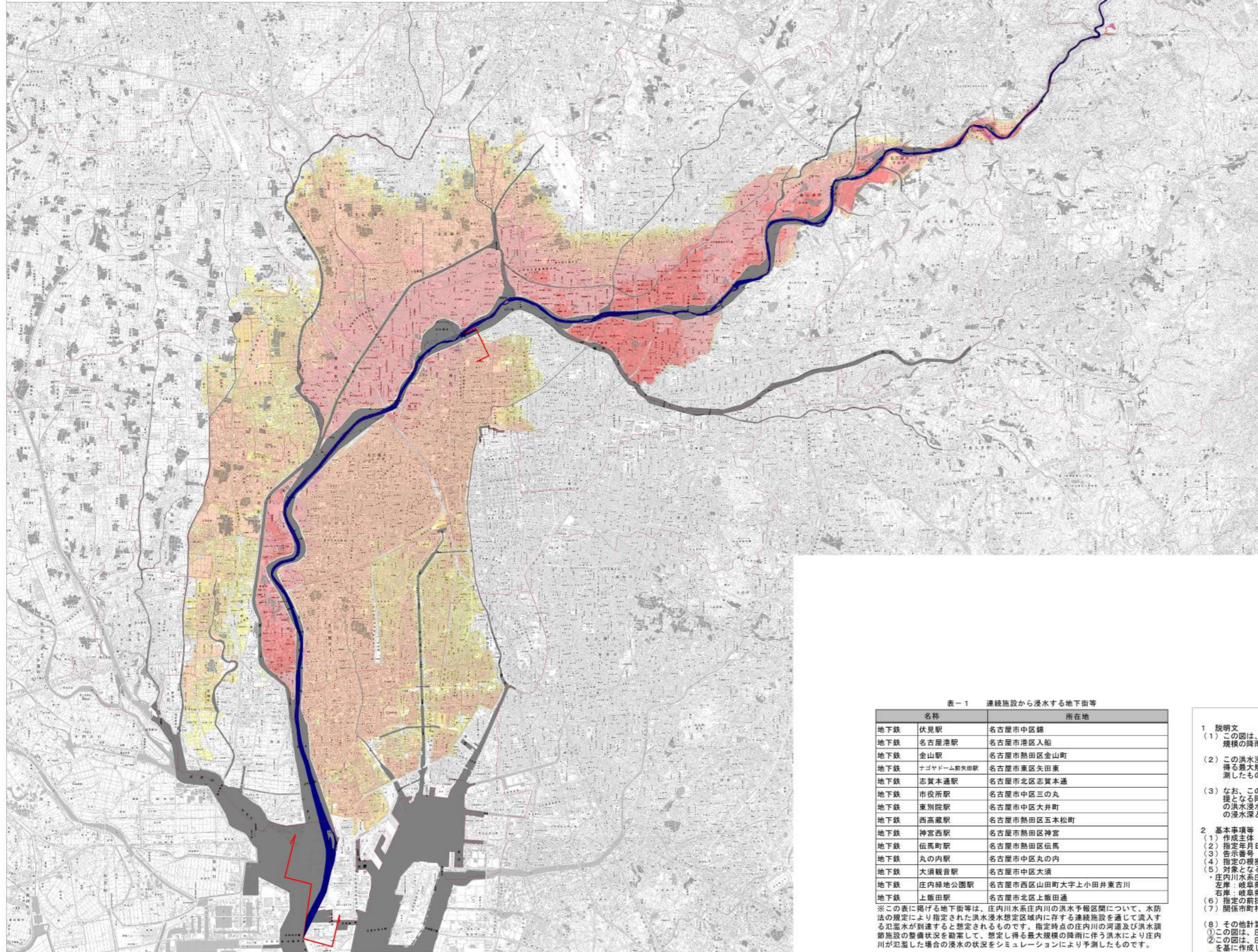
- 20.0m ~
- 10.0m ~ 20.0m
- 5.0m ~ 10.0m
- 3.0m ~ 5.0m
- 0.5m ~ 3.0m
- 0.5m 未満
- 市町村界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川及び水位周知河川

1:1,000,000  
0 5 10 15 20km

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平28情使、第578号)



# 庄内川水系庄内川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)



- 凡例**
- 浸水した場合に想定される水深(ランク別)
- 10.0~20.0m未満の区域
  - 5.0~10.0m未満の区域
  - 3.0~5.0m未満の区域
  - 1.0~3.0m未満の区域
  - 0.5~1.0m未満の区域
  - 0.3~0.5m未満の区域
  - 0.3m未満の区域
- 市区町境界  
 河川等範囲  
 浸水想定区域指定の対象となる洪水予報河川

表-1 連続施設から浸水する地下街等

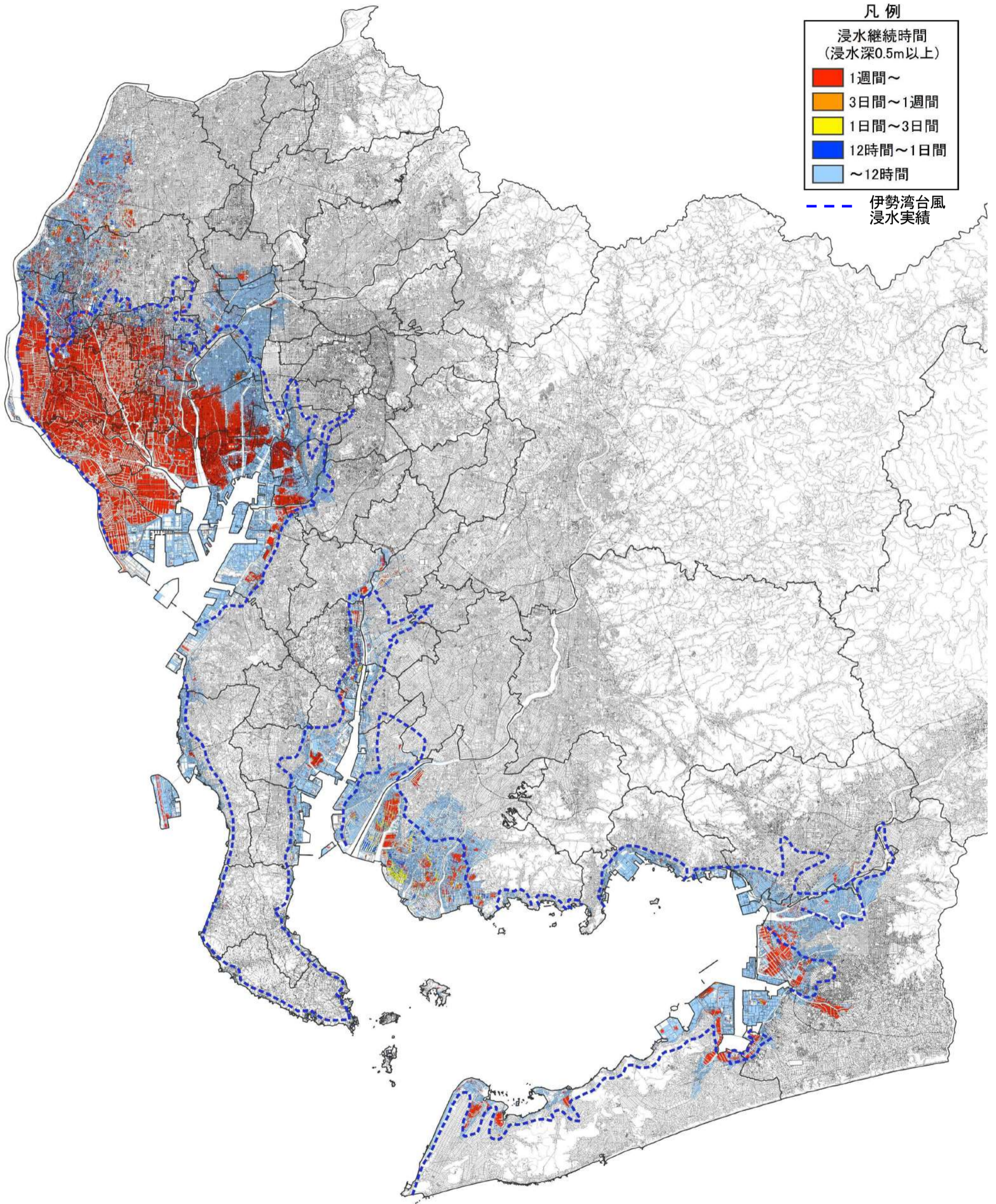
名称	所在地
地下鉄 伏見駅	名古屋市中区錦
地下鉄 名古屋港駅	名古屋港区入船
地下鉄 金山駅	名古屋熱田区金山町
地下鉄 ナゴヤドーム前矢田駅	名古屋東区矢田東
地下鉄 志賀本通駅	名古屋北区志賀本通
地下鉄 市役所駅	名古屋市中区三の丸
地下鉄 東別院駅	名古屋市中区大井町
地下鉄 西高蔵駅	名古屋熱田区五本松町
地下鉄 神宮西駅	名古屋熱田区神宮
地下鉄 伝馬町駅	名古屋熱田区伝馬
地下鉄 丸の内駅	名古屋市中区丸の内
地下鉄 大須観音駅	名古屋市中区大須
地下鉄 庄内緑地公園駅	名古屋西区山田町大字小田井東古川
地下鉄 上飯田駅	名古屋北区上飯田通

※この表に掲げる地下街等は、庄内川水系庄内川の洪水予報区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域内に存する連続施設を通じて流入する氾濫水が到達すると想定されるものです。指定時点の庄内川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により庄内川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

- 1 説明文**
- (1) この図は、庄内川水系庄内川の洪水予報区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
  - (2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の庄内川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により庄内川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
  - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2 基本事項等**
- (1) 作成主体 国土交通省中部地方整備局 庄内川河川事務所
  - (2) 指定年月日 令和2年3月6日
  - (3) 告示番号 国土交通省中部地方整備局告示第36号
  - (4) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項
  - (5) 対象となる洪水予報河川
    - ・庄内川水系庄内川（実施区間）
    - 左岸：岐阜県土岐市肥田町浅野字トチモト807番の3地先三共橋から海まで
    - 右岸：岐阜県土岐市泉町河合字中屋敷532番1地先三共橋から海まで
  - (6) 指定の前提となる降雨 庄内川流域の24時間総雨量 578mm
  - (7) 関係市町村 名古屋市、あま市、清須市、稲沢市、一宮市、北名古屋市、小牧市、春日井市、瀬戸市、豊川市、大治町、豊山町
- (8) その他計算条件等**
- ① この図は、庄内川の洪水予報区間で破堤した場合の洪水浸水想定区域等を図示しています。
  - ② この図は、庄内川の河口から約3kmより上流において、一定の条件で破堤させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。
  - ③ 氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。
  - ④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。



# 高潮浸水想定区域図(浸水継続時間)

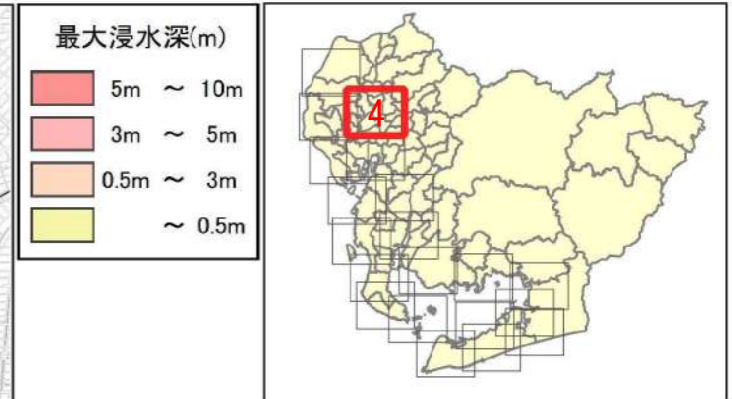
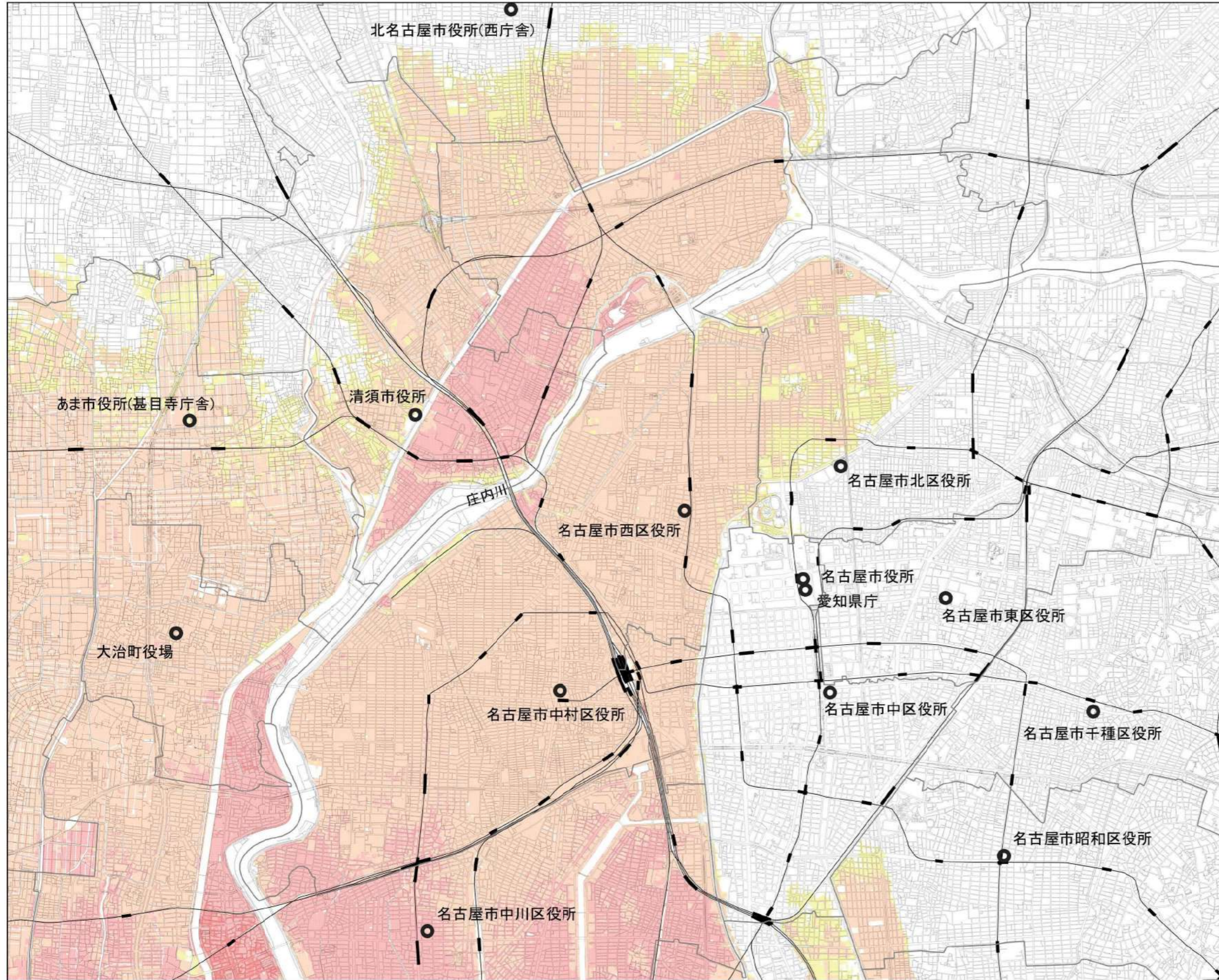
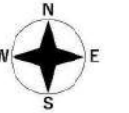




# 高潮浸水想定区域図

この図郭に含まれる市区町村: 千種区、東区、北区、西区、中村区、中区、昭和区、瑞穂区、熱田区、中川区、港区、守山区、春日井市、稲沢市、清須市、北名古屋市、あま市、豊山町、大治町

図面番号: 04 / 20 1:50,000

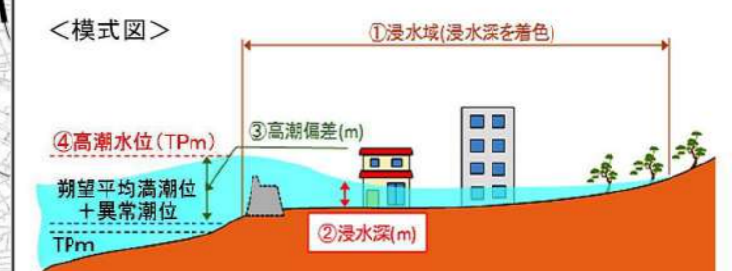


**【留意事項】**

- 高潮浸水想定区域図は、水防法（昭和24年法律第193号）第14条の3に基づき、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域（浸水区域）、浸水した場合に想定される浸水の深さ（浸水深）を図面に表示したものです。
- 高潮浸水想定区域図の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、日本に上陸した既往最大台風である室戸台風規模の気圧を有する台風が、三河湾・伊勢湾沿岸に大きな影響を与える経路を複数設定し、堤防・水門等は設計条件に達した段階で決壊するものとして、高潮浸水シミュレーションを実施しています。
- この複数の高潮浸水シミュレーションの結果から、最大となる浸水区域、浸水深を抽出し示しています。
- 高潮浸水区域図は、地面の高さを基準とした浸水深を示したものであり、地下空間の浸水については反映していませんが、実際には、高潮が地下空間に流入する場合があります。
- 道路のアンダーパス等、周辺の土地より極端に低い箇所では、局所的に浸水深が深くなります。
- 台風等により高潮が発生する状況では、同時に降雨も想定されるため、国直轄河川及び県管理河川の内、基本高水のピーク流量が1,000m<sup>3</sup>/s以上の河川については、河川整備の目標とする降雨による洪水が同時に発生した場合を想定しています。
- その他の河川については、河川内の水位変化を図化していませんが、高潮の遡上等により、海岸から離れた地域でも河川から浸水することが想定されます。
- 高潮浸水想定区域図では、高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響があること、想定していない内水出水（内水氾濫）が発生すること等、浸水想定区域図以外でも浸水が発生したり、浸水深が深くなる場合があります。
- 現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した台風から条件を組み合わせて設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではありません。
- 確実な避難のためには、気象庁が発表する台風情報や、各市町村が作成するハザードマップ等を活用してください。

**【用語の解説】**

浸水域：高潮や高波に伴う越波・越流によって浸水が想定される区域  
 浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置にきた時の地面から水面までの高さ



**【台風規模】**  
 室戸台風級  
 ・中心気圧910hPa  
 ・半径75km  
 ・速度73km/h

**【計算条件】**  
 期望平均満潮位  
 水門は操作規定に準じて閉鎖し、設計条件に達した時点で堤防とともに決壊する

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用したものである。(承認番号: 測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 1214)

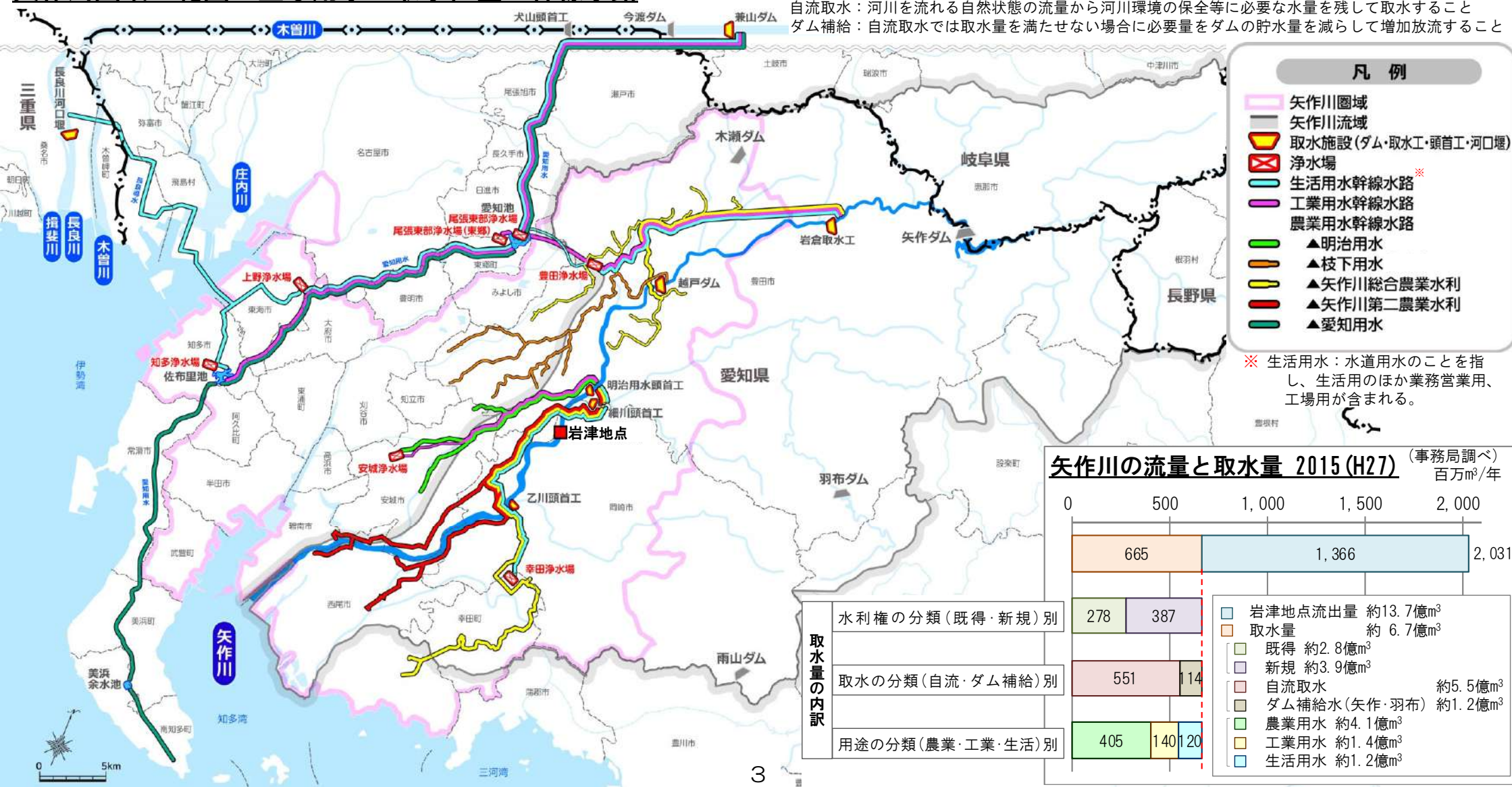


# 矢作川圏域の水供給・水利用

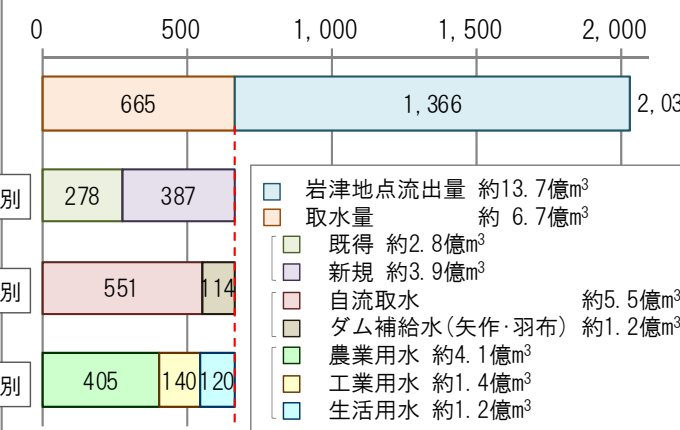
- モデル水系の検討にあたり、水供給・水利用の概要・特徴を整理した。
- なお、矢作川水系から水供給がされている地域を矢作川圏域と呼称した。
  - 矢作川の水は、矢作川圏域の生活・工業・農業用水として、流出量の約1/3(年間約6.7億 $m^3$ )が高度に利用されている
  - 矢作川圏域には、生活・工業用水として木曾川からの水供給も行われている

既得：1964(S39)年の河川法制定以前から取水の実態があり、歴史的・社会的に認められた水利権  
 新規：1964(S39)年の河川法制定以降に認められた水利権  
 自流水取：河川を流れる自然状態の流量から河川環境の保全等に必要水量を残して取水すること  
 ダム補給：自流水取では取水量を満たせない場合に必要量をダムの貯水量を減らして増加放流すること

## 矢作川圏域の範囲・主な用水の取水位置と幹線水路



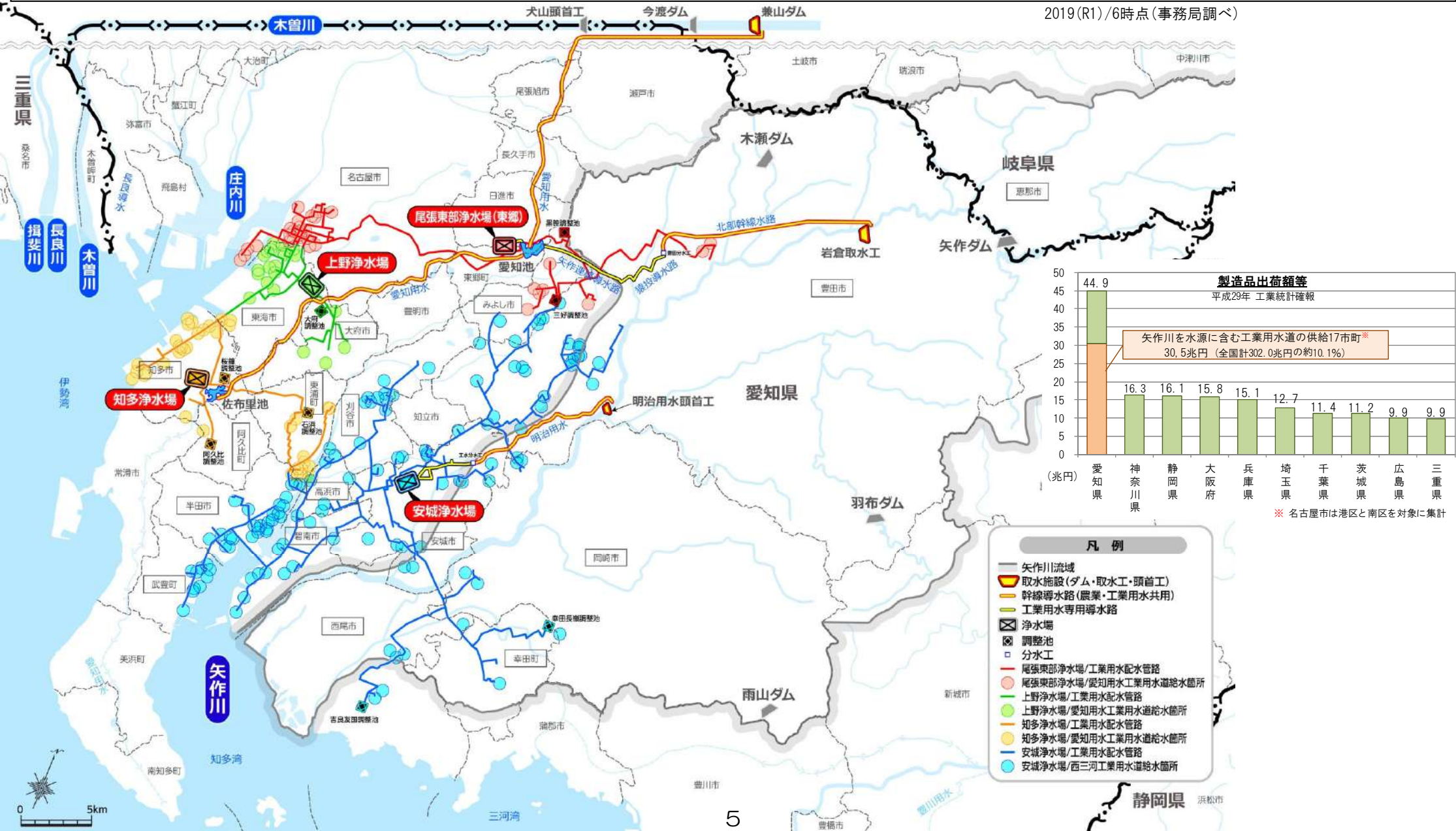
矢作川の流量と取水量 2015 (H27) (事務局調べ) 百万 $m^3$ /年





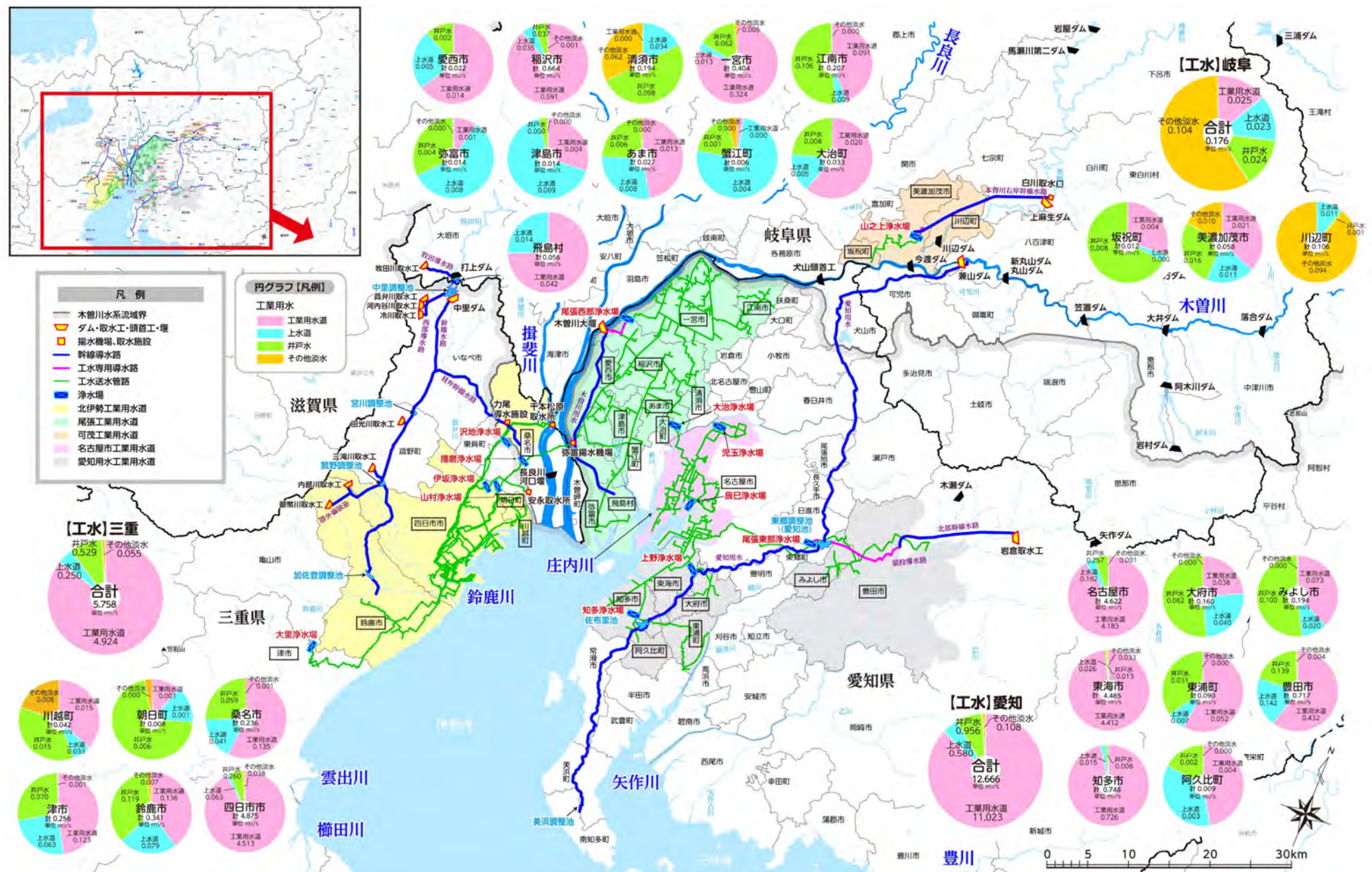
# 矢作川圏域の工業用水

- 工業用水の供給区域は、主に愛知県西三河地域及び知多地域等の13市4町(約240事業所)で、使用水量は13m<sup>3</sup>/s程度、製造品出荷額は約30.5兆円と全国の1割余に達している。
- 使用水量の7割余は愛知県営工業水道で、その水源は矢作川に約4割、木曾川に約6割を依存している。





# 木曾川水系 工業用水の供給系統



注) 供給区域や取水・導水・送水施設、浄水場は、以下の資料をもとに図化した。  
 可茂工業用水道事業管路図、愛知県営水道・工業用水道事業概要図、北勢水道事務所管内図、なごやの工業用水道、(独)水資源機構中部支社管内図、愛知用水リーフレット、木曾川用水リーフレット、三重用水リーフレット  
 図中の円グラフは工業用水の各市町村別用水量(m<sup>3</sup>/s)で、2009(H21)~2018(H30)年の年間用水量平均値を以下の資料から算出した。  
 岐阜県工業統計調査年報、愛知県工業統計調査年報、三重県工業統計調査年報